

業 績

2016年1月～12月

原著 25本 総説 67本

原 著

Aya Matsushita, Junji Haruta, Madoka Tsutumi, Takuya Sato and Tetsuhiro Maeno: Validity of medical history taken by pharmacists using a medical history taking tool. JOURNAL OF GENERAL AND FAMILY MEDICINE Version of Record online, 30 JUN 2017, DOI: 10.1002/jgf2.113

Kim C, Wu B, Tanaka E, Watanabe T, Watanabe K, Chen W, Ito S, Okumura R, Arai T, Anne T: Association between a change in social interaction and dementia among elderly people. International Journal of GERONTOLOGY 10: 76-80, 2016

Watanabe K, Tanaka E, Watanabe, W Chen, B Wu, S Ito, R Okumura, T Anne: Association Between Social Relationships and Cognitive Function Among the Elderly. Public Health Research 6(2): 59-63, 2016

Chen W, Tanaka E, Watanabe K, Tomisaki E, Watanabe T, Wu B, Anne T: The influence of home-rearing environment on children's behavioral problems 3 years' later. Psychiatry research 244: 185-193, 2016

Watanabe K, Tanaka E, Watanabe T, Chen W, Wu B, Ito S, Okumura R, Anne T: Association between the older adult's social relationships and functional status in Japan. Geriatric Gerontology international, 2016, doi: 10.1111/ggi.12909

Goto R, Watanabe H, Tsutsumi M, Kanamori T, Maeno T, Yanagi H: Factors associated with the recovery of activities of daily living after hospitalization for acute medical illness: a prospective cohort study. J Phys Ther Sci 28(10): 2763-2768, 2016

Isono H, Miyagami T, Katayama K, Isono M, Hasegawa R, Gomi H, Kobayashi H: Tetanus in the Elderly: The Management of Intensive Care and Prolonged

Hospitalization. Intern Med 2016, 55: 3399-3402, DOI: [10.2169/internalmedicine.55.7131](https://doi.org/10.2169/internalmedicine.55.7131)

Yoneatsu Osaki, Aya Kinjo, Susumu Higuchi, Hiroshi Matsumoto, Takefumi Yuzuriha, Yoshinori Horie, Mitsuru Kimura, Hideyuki Kanda, Hisashi Yoshimoto: Prevalence and Trends in Alcohol Dependence and Alcohol Use Disorders in Japanese Adults; Results from Periodical Nationwide Surveys. J Alcohol and Alcoholism 51(4): 465-73, OXFORD UNIV PRESS, doi: 10.1093/alcalc/agw002, 2016

Ozone S, Shaku F, Sato M, Takayashiki A, Tsutsumi M, Maeno, T: Comparison of blood pressure measurements on the bare arm, over a sleeve and over a rolled-up sleeve in the elderly. Fam Pract 33(5): 517-22, 2016

Junji Haruta, Ikuko Sakai, Mariko Otsuka, Hisashi Yoshimoto, Kazue Yoshida, Michiko Goto, Toshinori Shimoi: Development of an interprofessional competency framework in Japan. Journal of Interprofessional Care. Sep; 30(5): 675-7, doi: 10.1080/13561820.2016.1192588, 2016

Hamano J, Tokuda Y.: Changes in vital signs as predictors of bacterial infection in home care: a multi-center prospective cohort study. Postgrad Med. Nov(3): 1-5, 2016

Hamano J, Tokuda Y, Kawagoe S, et al.: Adding items that assess changes in activities of daily living does not improve the predictive accuracy of the Palliative Prognostic Index. Palliat Med. Jul 19, doi: 10.1177/0269216316650788, July 2016

Hamano J, Yamaguchi T, Maeda I, et al.: Multicenter cohort study on the survival time of cancer patients dying at home or in a hospital: Does place matter?.

Cancer, 122(9): 1453-1460, 2016

Yokoya S, Seo E, Ogawa R, Takayashiki A, Maeno T: The effect of stress-related factors on depressive state among medical residents. Medical research archives, 4(6): 77-87, 2016, DOI:10.18103/mra.v4i6.679

Heist BS, Kishida N, Deshpande G, Hamaguchi S, Kobayashi H.: Virtual patients to explore and develop clinical case summary statement skills amongst Japanese resident physicians: a mixed methods study. BMC Med Educ. 2016 Feb 1; 16: 39. doi: 10.1186/s12909-016-1571-y.

Nakagata T, Naito H, Katamoto S, Kobayashi H, Sawada S.: Effects of Transdermal Nicotine Patches on Energy Expenditure Measured with a Human Calorimeter. Juntendo Medical Journal 2016. 62(3), 232-239

Okubo Y, Jung S, Osuka Y, Shigematsu R, Seino S, Kobayashi H, Miyachi M, Takenaka K, Tanaka K: Effect of post-exercise class mailing program on long-term exercise adherence among community-dwelling older adults: A study design for a randomized controlled trial. 健康支援 (1345-0174)18巻 2号, Page43-53

Kamata K, Abe T, Kobayashi H, Tokuda Y: Chocolate Colored Urine. Journal of General and Family medicine 17(3): 252-253, 2016

Yoshihara T, Kobayashi H, Kakigi R, Naito H: Heat stress induced phosphorylation of FoxO3a signaling in rat skeletal muscle, Acta Physiol. 218(3): 178-187, 2016. doi: 10.1111/alpha12735.Epub 2016 Jul 1.

Tsuzuki T, Kobayashi H, Yoshihara T, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Naito H.: Attenuation of exercise-induced heat shock protein 72 expression blunts improvements in whole-body insulin resistance in rats with type 2 diabetes. Cell Stress Chaperones. 2017 Mar;22(2): 263-269. doi: 10.1007/s12192-017-0767-z. Epub 2017 Feb 2.

渡邊大貴, 後藤亮平, 田中直樹, 金森毅繁, 柳久子: 回復期脳卒中患者におけるロボットスーツ HAL®

(Hybrid Assistive Limb®) 福祉用を用いた歩行練習の適応症例および QOL と気分や感情に対する効果の検討ーランダム化比較試験の結果からー. 理学療法科学, 31(5) : 733-742, 2016

川口修平, 堤円香, 中澤一弘, 松下綾, 佐藤卓也, 前野哲博: ドラッグストアチェーンに勤務する薬剤師による認知症を疑う患者への受診勧奨に関する横断的研究. 薬局薬学, 9(1) : 106-112, 2017

田口有里恵, 吉本尚, 池田俊也: わが国の高リスク飲酒者へのスクリーニングとブリーフ・インターベンションの実施に関する考察ー実現可能性と費用対効果の観点からー. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 51(1) : 36-39, 2016

沼田賢治, 小林裕幸, 上村公介, 下田康平, 柴田靖, 益子良太, 織田彰子, 塩谷彩子: 頸部痛を主訴に受診し後に脳静脈血栓症と診断された1例. 論文種類: 原著論文/症例報告, 茨城県厚生連病院学会雑誌 (2188-8329) 29巻, P. 39-42, 2016年12月

讚岐勝, 山田武史, 百賢二, 小川良子, 沼尻晴子, 瀬尾恵美子, 前野哲博: 既存の環境で e-learning はどこまで構築できるのか? (2015年度特集論文研究会 能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践). 教育システム情報学会研究報告, 30(7) : 97-104, 2016

総 説

松下綾: 連載企画「臨床推論活用術」. じほう「調剤と情報」

梶川奈月, 小國英一, 関義元, 関昇子: 薬剤調整に難渋したがバクロフェン持続髄注の増量が奏功した Stiff-Person 症候群の一例. 第628回日本内科学会関東地方会, 東京, 2016年11月

高橋聡子, 吉本尚, 五十野博基: 【病院×家庭医療】精神 “病院×家庭医療” とアルコール問題. 治療 98 : 1614-1621, 2016

高橋聡子, 吉本尚, 柳川徹: 「糖尿病の患者が来た. HbA1c って何??」. 歯科医院のための内科学講座, 補綴臨床, 歯科薬出版株式会社, 48-59, 2016

高橋聡子, 吉本尚, 五十野博基: アルコール問題. 治療 病院×家庭医療, 1614-1621, 2016

高橋聡子, 吉本尚, 柳川徹: 歯科医院のための内科学講座⑥「糖尿病の患者さんが来た。HbA1c って…………」。補綴臨床, 49(1): 48-59, 2016

細井崇弘: 思い出のポートフォリオを紹介します. 第16回「男性の健康問題」, G ノート No.8 Vol.3: 1550-1553, 羊土社, 2016

戒能賢太, 五十野桃子, 野牛宏晃: (第4章) 周術期の患者管理, こんなときどうする? ステロイド内服中の対応は?. レジデントノート増刊, Vol.18 No.5: 981-987, 2016.06

山本由布, 吉本尚: 家族内の意見がまとまらないご家族. G ノート増刊 もっと踏み込む認知症ケア 家族だけじゃない! 家族や地域の問題まで診る, 現場で生かせるレシピ集, 3(6): 1079-1083, 2016

山本由布, 吉本尚: 家族内の意見がまとまらないご家族. 総合診療のG ノート, 3(6): 169-173, 2016

監修五十野博基, 小林裕幸: 内科の視点で診る手術前後の入院患者管理. レジデントノート増刊, Vol.18 No.5, 羊土社

梶有貴, 五十野博基: (第3章) 術後合併症の内科的管理 入院時指示の書き方. レジデントノート増刊, Vol.18 No.5: 975-980, 2016年6月

梶有貴, 五十野博基: (第2章) 内科的基礎疾患をもつ患者さんの術前評価・周術期管理 術前評価の“賢い選択”. レジデントノート増刊, Vol.18 No.5: 872-877, 2016年6月

五十野博基: 感染症予防バンドル・チェックリスト 人工呼吸器関連肺炎 (VAP) の予防 (解説/特集). 総合診療 (2188-8051), 26巻7号: 589-591, 2016年7月

入山大希, 五十野博基, 長谷川隆一: 【救急から在宅までとことん使える! 酸素療法まるごとブック】 (第3章) 急性期の巻 酸素療法が行われる場面を見てみ

よう! 救急搬送患者. 呼吸ケア, 30-34, 2016

吉本尚: 外来でできる早期スクリーニング 専門治療につなげるために. 日本医事新報, 4812: 26-33, 2016

濱井彩乃, 吉本尚: 家庭医とスポーツドクター 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 17(15): 2887, 2016

高橋毅, 吉本尚: 地域の皆さんに支えられながら~山里の診療所で感じる, 地域医療のやりがい 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 17(16): 3049, 2016

調拓治, 吉本尚: 家庭医療の後期研修をのぞき見る 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 17(18): 3437, 2016

森川暢, 吉本尚: 病院総合医の活動と魅力 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(1): 185, 2016

藤谷直明, 吉本尚: 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. 日本プライマリ・ケア連合学会若手医師部会, レジデントノート, 18(3): 591, 2016

松島和樹, 吉本尚: 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー開催報告 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(4): 749, 2016

吉本尚: 周術期の患者管理, こんなときどうする? 3. アルコール多飲, 依存症で気をつけることは?. レジデントノート, 18(5): 222-228, 2016

吉野弘, 吉本尚: 米国での家庭医療を経験して (ミシガン大学家庭医療科プログラム) 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(6): 1161, 2016

井上博人, 吉本尚: 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 in 浅草, レジデントノート, 18

(9) : 1797, 2016

丸山淳也, 吉本尚: 家庭医療後期研修の現場から 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(10) : 1945, 2016

馬淵真依, 吉本尚: 平成28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(12) : 2343, 2016

長野広之, 吉本尚: 大病院で働く総合内科医の仕事 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(13) : 2481, 2016

藤谷直明, 吉本尚: 発表する. 治療, 98(2) : 274-278, 南山堂, 2016

廣瀬英生, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第26回: 胃食道逆流症~診断に内視鏡検査は必要?~. CareNet, 2016

本郷舞依, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第27回: 食事における栄養の「神話」は本当?. CareNet, 2016

佐々木隆史, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第28回: 子供の発疹の見分け方. CareNet, 2016

寺澤佳洋, 北本晋一, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第29回: 多関節炎の鑑別. CareNet, 2016

北本晋一, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第30回: 造影CT検査を適正に行うために. CareNet, 2016

小林直子, 吉本尚: 1分でわかる家庭医療のパール第31回: 膝の痛みにおける非外科的治療. CareNet, 2016

吉本尚: 広げよう, 学びの輪 勉強会へようこそ・番外編 筑波大学 総合診療塾. 総合診療のGノート, 3(3) : 547, 2016

加藤士郎, 玉野雅裕, 岡村麻子, 小曾根早知子, 星野

朝文, 高橋晶, 麦原匡史, 山内浩: 高齢者のインフルエンザと市中肺炎に対する漢方補剤の予防効果. 漢方医学, 40(1) : 49-52, 2016

玉野雅裕, 加藤士郎, 岡村麻子, 小曾根早知子, 星野朝文, 高橋晶, 麦原匡史, 山内浩: 過食行動により悪化した認知症合併糖尿病に対する抑肝散の臨床的有効性の検討. 漢方医学, 40(1) : 43-46, 2016.

任瑞, 小曾根早知子: 【The 初診外来】初診のみかた 全身倦怠感. 総合診療, 6(8) : 656-660, 2016

廣瀬知人: 第2章 7. 腎機能の術前評価と腎疾患の周術期管理. (小林裕幸, 五十野博基編集) レジデントノート2016年増刊, 内科の視点で診る手術前後の入院患者管理, 羊土社, 東京, 142-9, 2016年6月

春田淳志: 日本の連携コンピテンシーとソーシャルワーカーに期待する役割 (特集 保健医療ソーシャルワークにおける専門職連携のあり方を問う). ソーシャルワーク研究, 社会福祉実践の総合研究誌, 42(3) : 190-199, 2016

下井俊典, 大塚真理子, 春田淳志, 酒井郁子, 神山裕美, 小林毅: 連携教育の現状と課題: リハビリテーションを担う職種を育てる IPE. リハビリテーション連携科学, Vol17. No1., 2016

春田淳志: 1. 多職種連携コンピテンシー. 特集 専門職連携コンピテンシー, 保健医療福祉連携, 連携教育と連携実践, 9(2) : 106-115, 2016

下井俊典, 大塚真理子, 春田淳志, 畔上光代, 酒井郁子, 神山裕美, 藤林慶子, 小林毅, 相馬仁: 2. 保健医療福祉職における専門職連携コンピテンシー. 特集 専門職連携コンピテンシー-日本保健医療福祉連携教育学会 IPE 推進委員会による-, 保健医療福祉連携, 連携教育と連携実践, 9(2) : 106-115, 2016

春田淳志, 吉本尚: キャリアとしての医学教育 総合診療はおもしろい~若手医師・学生による活動レポート. レジデントノート, 18(7) : 1343, 2016

鈴木広道: カルバペネムのフォースとダークサイド. 森澤雄司監修, INFECTION CONTROL, vol. 25 no. 6:

43-47, メディカ出版, 2016

廣瀬由美: 周術期の患者管理, こんなときどうする?
2. 高齢者の術前・術後管理で気をつけることは? .
レジデントノート増刊, 18(5): 216-221, 2016

浜野淳: ポイントで読み解く NEWS のツボ 慢性心
不全患者に緩和ケアを厚労省が推進. ナース専科, 36
(8): 82-84, メディカ出版, 大阪, 2016

浜野淳: あなたの患者さんが亡くなったら驚きます
か? - サプライズクエッション. 緩和ケア, 26(5):
346-349, 青海社, 東京, 2016

荒牧まいえ, 高屋敷明由美: 地域でみる認知症診療
昼夜逆転のひどい症例. G ノート, 17(10): 1991,
2016

長岡広香: 化学療法/放射線療法中に口が痛いと言わ
れたら - 口腔/咽頭粘膜炎発症後の鎮痛薬の選択. 緩
和ケア, 27(1): 020-023, 2017

横谷省治: 気分障害が疑われる患者との医療面接. レ
ジデント, 9(3): 70-78, 2016

細井崇弘, 横谷省治: 【思い出のポートフォリオを紹
介します】第16回 男性の健康問題~on going で作成
し, 実臨床にフィードバック~. G ノート, 3(8):
1550-1554, 2016

富田美加, 馬場健, 前野貴美: 【自己解決力を高める
Team-Based Learning】実践事例①大学合同のTBL
による多職種連携教育の実際. 看護展望41: 273-9,
2016

鈴木智晴, 小林裕幸: 【内科の視点で診る手術前後の
入院患者管理】(第2章) 内科的基礎疾患をもつ患者
さんの術前評価・周術期管理 DVT のリスク評価と
予防, そのエビデンス. レジデントノート(1344-6746)
18巻5号, P. 934-943, 2016年6月

鈴木智晴, 小林裕幸: 【内科の視点で診る手術前後の
入院患者管理】(第2章) 内科的基礎疾患をもつ患者
さんの術前評価・周術期管理 抗凝固薬、抗血小板
薬を処方中の患者の周術期管理. レジデントノート

(1344-6746) 18巻5号, P. 897-905, 2016年6月

戒能賢太, 小林裕幸: 症例を俯瞰する総合診療医の眼
嘔吐、下痢を主訴に来院したうつ病の78歳女性. 診
断と治療 (0370-999X) 104巻2号, P. 239-243, 133,
2016年2月

小林裕幸: 【ポリファーマシー】総合病院にて~総
合内科での実態とアプローチ~. 治療98巻12号, P.
1890-1894, 2016年12月

前野哲博: New Books 帰してはいけない小児外来患
者. 糖尿病診療マスター, 14(1): 16, 2016

鈴木英雄, 前野哲博: 【医学教育の現在——現状と課
題】5. 診療参加型実習と学外臨床実習. 医学のあゆみ,
256(8): 919-23, 2016

堤円香, 佐藤幹也, 監修 前野哲博: 今こそ臨床研究
をはじめよう! 忙しい臨床医のための研究実践のコツ
第3回 論文の読み方. G ノート, 3(1): 95-102,
2016

前野哲博: 特集にあたって①本特集のねらい~自分の
“エッセンシャルドラッグ”をもとう. G ノート, 3(1):
10-11, 2016

前野哲博: 大小さまざまな医療機関で実習できるシ
ステムを構築. NIKKEI MEDICAL 2016.5別冊付録,
587: 8-9, 2016

前野哲博: GM Library 『総合診療専門医 腕の見せど
ころ症例 最上のポートフォリオに向けて』. 総合診
療, 26(7): 611, 2016

前野哲博: 人々の健康を支えるオールラウンダーを目
指しての取り組み. 月刊地域医学, 30(10): 15-19,
2016

Journal Club

作成者永藤瑞穂, 監修者五十野博基: 『抑肝散は認知
症のBPSDを改善するか(サブグループ解析の批判
的吟味)』. 2016年4月

Clinical Question

作成者宮崎賢治, 監修者小曾根早知子, 五十野博基:
救急で困る一過性全健忘. 2016年12月

作成者任瑞, 監修者五十野博基: デング熱の診断と予防. 2016年3月

著書・書籍

山田裕揮, 劉彦伯, 井村春樹: 病歴? それとも検査所見?. 関フェデ流臨床推論カンファレンス Live, 関西若手医師フェデレーション編著, 中外医学社, 東京, 141-154, 2016

永藤瑞穂, 阪本直人: 糖尿病. コモンディーズ診療指針 (スーパー総合医), 中山書店, 東京: 138-143, 2016年3月

永藤瑞穂, 阪本直人: コモンディーズ診療指針 糖尿病. 中山書店, 138-143, 2016

片岡義裕: つくば家庭医・病院総合医プログラム紹介. プライマリケア. 一般財団法人 日本プライマリ・ケア連合学会, 62-65, 2016

五十野桃子: 糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症, 症候別“見逃してはならない疾患”の除外ポイント. 医学書院, 325, 2016

五十野博基: 高血圧, 症候別“見逃してはならない疾患”の除外ポイント. 医学書院, 318-324

五十野博基: 業務改善のしかた. 医師のためのノンテク仕事術, 羊土社, 64-78

五十野博基: 業務を改善する. 医師のためのノンテク仕事術, 羊土社, 150-158

吉本尚: アルコールと心臓・血圧の病気との関係は?. WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究, 改訂版アルコール保健指導マニュアル, 36-39, 2016年3月

吉本尚: アルコールと糖尿病, メタボリックシンドロームとの関係は?. WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究, 改訂版ア

ルコール保健指導マニュアル, 40-42, 2016年3月

吉本尚: アルコールとその他の身体の病気との関係は?. WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究, 改訂版アルコール保健指導マニュアル, 50-52, 2016年3月

吉本尚: アルコールを飲むときに, 牛乳などを飲むと酔いにくくなるというのは本当でしょうか?. WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究, 改訂版アルコール保健指導マニュアル, 164, 2016年3月

吉本尚: 一緒に飲んでいる人が具合悪くなったとき, どのようなタイミングで救急車を呼んだり病院に連れていったりすればよいのでしょうか? 危険な兆候はありますか?. WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究, 改訂版アルコール保健指導マニュアル, 172, 2016年3月

吉本尚: 人への接し方~人との関係をよくするためのスキルを身につけよう~. G ノート別冊 研修ではおしえてくれない! 医師のためのノンテク仕事術, 46-53, 2016

吉本尚: 実践! ノンテク仕事術で変わった! 自分と職場のスタッフ, お互いを理解すれば現場が変わる!. G ノート別冊 研修ではおしえてくれない! 医師のためのノンテク仕事術, 176-177, 2016

廣瀬知人: 4. ネフローゼ症候群 (総論). (小松康宏編集) 腎臓内科クリニカルスタンダード, 文光堂, 東京, 222-31, 2016年2月

廣瀬知人: 5. 急速進行性糸球体腎炎 (総論). (小松康宏編集) 腎臓内科クリニカルスタンダード, 文光堂, 東京, 232-7, 2016年2月

春田淳志, 後閑良平, 本田淑恵: リハ関連職種の見点と専門職連携のコツ 若林秀隆 (編) その患者さん, リハ必要ですよ!! 羊土社, 65-68, 2016

春田淳志: 定期的な省察による生涯学習 草場鉄周 (編集主幹) 総合診療専門医 何をどう教えるか 工夫と実例. 中山書店, 145-151, 2016

木下賢輔：低価値なケア Low-Value Care をやめよう
入院時ルーチンや内視鏡前の肝炎ウイルス・梅毒血清
学的検査。編集 徳田安春，ジェネラリスト教育コン
ソーシアム 9 巻，日本の高価値医療 High Value Care
in Japan，尾島医学教育研究所，137-141，東京，2016
年 4 月

木下賢輔：問題055. 責任編集 岡崎仁昭，目でみ
るトレーニング第 3 集，医学書院，117-118，東京，
2016年 4 月

木下賢輔：問題138. 責任編集 岡崎仁昭，目でみ
るトレーニング第 3 集，医学書院，293-294，東京，
2016年 4 月

木下賢輔：問題139. 責任編集 岡崎仁昭，目でみ
るトレーニング第 3 集，医学書院，295-296，東京，
2016年 4 月

木下賢輔，川口崇：抗パーキンソン病薬・抗精神病薬
および排尿障害治療薬を使用中の71歳女性。認知機能
低下・下肢脱力により転倒し胸椎圧迫骨折。編集 徳
田安春，ケーススタディでわかる脱ポリファーマシー，
南江堂，99-105，東京，2016年10月

木下賢輔，百賢二：不眠症で睡眠導入剤を処方されて
いた77歳男性。副鼻腔真菌症に対して抗真菌薬を使用，
意識障害に陥る。編集 徳田安春，ケーススタディで
わかる脱ポリファーマシー，南江堂，112-117，東京，
2016年10月

木下賢輔，百賢二：頻脈でジギタリスを増量された63
歳女性。ジギタリス中毒となり徐脈・失神で緊急入
院。編集 徳田安春，ケーススタディでわかる脱ポリ
ファーマシー，南江堂，118-123，東京，2016年10月

木下賢輔，木村丈司：心臓肥大で加療中の91歳女
性。訪問介護で著明な全身浮腫と低酸素を認め救急搬
送。編集 徳田安春，ケーススタディでわかる脱ポリ
ファーマシー，南江堂，124-130，東京，2016年10月

木下賢輔，木村丈司：抗不整脈薬・ β 遮断薬を処方さ
れた肝硬変の45歳男性。徐脈・急性腎不全・無尿とな
る。編集 徳田安春，ケーススタディでわかる脱ポリ
ファーマシー，南江堂，137-142，東京，2016年10月

木下賢輔，百賢二：ワルファリン内服中の61歳男性。
口腔カンジダ症に対してミコナゾールを処方され，肉
眼的血尿と PT-INR 延長により緊急入院。編集 徳田
安春，ケーススタディでわかる脱ポリファーマシー，
南江堂，150-154，東京，2016年10月

木下賢輔，百賢二：転倒による橈骨遠位端骨折に対し
て鎮痛薬を処方された92歳女性。吐血をきたし救急搬
送。編集 徳田安春，ケーススタディでわかる脱ポリ
ファーマシー，南江堂，161-165，東京，2016年10月

木下賢輔，大野能之：パーキンソン病の80歳男性。前
立腺肥大症治療薬投与にて失神を繰り返す。編集 徳
田安春，ケーススタディでわかる脱ポリファーマシー，
南江堂，166-172，東京，2016年10月

木下賢輔，川口崇：骨粗鬆症にて活性型ビタミン D3
製剤をカルシウム剤投与の75歳女性。食思不振，風邪
症状，傾眠が出現。編集 徳田安春，ケーススタディ
でわかる脱ポリファーマシー，南江堂，173-178，東京，
2016年10月

浜野淳：睡眠障害。スーパー総合医 コモンディジー
ズ診療指針，中山書店，90-91，東京，2016

浜野淳：第 5 章 さまざまな状況での緩和ケア：在宅
医療。緩和ケアレジデントマニュアル，348-360，医
学書院，東京，2016

浜野淳：オピオイドスイッチング。がん疼痛の処方
さじ加減の極意。264-274，南山堂，東京，2016

浜野淳：嘔気で難渋するオピオイド導入。がん疼
痛の処方 さじ加減の極意。90-94，南山堂，東京，
2016

浜野淳：独居の患者に対するオピオイドの投与。がん
疼痛の処方 さじ加減の極意。200-209，南山堂，東京，
2016

阪本直人：第 9 章「医療機関におけるヘルスリテラシー
に着目した取り組み」。ヘルスリテラシー：健康教育
の新しいキーワード，大修館書店，東京：141-152，
2016年 6 月

阪本直人：『8. ヘルスリテラシー向上のための患者教育』。日本の高価値医療 High Value Care in Japan (ジェネラリスト教育コンソーシアム9th), 株式会社尾島医学教育研究所, 東京: 117-125, 2016年5月

栗原宏：咳嗽。葛西龍樹監修, 診療ガイドラインが教えてくれないこともある, 63-70, 南山堂, 東京, 2016

長岡広香：浮腫 (SVC 症候群を含む)。緩和ケアレジデントマニュアル, 第2章 (14): 162-170, 2017

横谷省治：地域の最適な研修の場に大学の教育機能を展開 - 筑波大学プログラム (つくば家庭医・病院総合医プログラム)。草場鉄周編, [4] 総合診療専門研修の手引き 何をどう教え学ぶか 工夫と実例, 299-307, 中山書店, 東京, 2016

前野哲博：研修では教えてくれない! 医師のためのノンテック仕事術。181, 羊土社, 2016

前野哲博：診療の場の多様性。総合診療〈4〉専門研修の手引き 何をどう教え学ぶか, 77-82, 中山書店, 2016

翻訳

吉本尚：メディカル・ジェネラリズム なぜ全人的医療の専門性が重要なのか。2016

学会発表

Sayaka Ohsawa, Hiroshi Takagi, Madoka Tsutsumi, Hiroto Sasanuma, Maie Aramaki, Jun Hamano, Yousuke Kimura: Burdens of elderly care of the elderly at home by caregivers aged 65 or over. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

Kataoka Yoshihiro, Takayashiki Ayumi, Maeno Tetsuhiro: Motives and concerns for practicing medically underserved areas among sixth-year Japanese medical students in a special quota system. 21st WONCA World Conference of Family Doctors, Rio de Janeiro, Nov 2016

Shuhei Ichikawa, Michiko Goto, Kazue Yoshida, Yohei Mori, Hisashi Yoshimoto, Yoshifumi Hirabayashi:

FACTORS RELATED TO THE SUBJECTIVE CHARACTERISTICS OF INTERPROFESSIONAL WORKING IN A TERTIARY CARE UNIT: A CROSS-SECTIONAL STUDY. 13th Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC), Singapore, Jan. 2016

Michiko Goto, Miwa Izuhara, Hisashi Yoshimoto, Kazue Yoshida, Youhei Mori, Shuhei Ichikawa, Kyoko Fukui, Yumie Yokoi, Mayumi Tujikawa, Yousuke Takemura: "MIE-IPE": FINAL REPORTS OF 7 DEPARTMENTS AT 7 UNIVERSITIES. AMEE 2016, Barcelona, Spain, Aug. 2016

Hisashi Yoshimoto, Ayumi Takayashiki: Effectiveness of various alcohol screening instruments for detecting alcohol use disorder in the Japanese primary care setting. ISBRA/ESBRA Congress, Berlin, Sept. 2016

Junji Haruta, Michiko Goto, Youhei Mori, Shuhei Ichikawa, Kazue Yoshida, Kenji Yoshimi, Hisashi Yoshimoto: Development of an interprofessional competency framework in Japan. ATBH-September 2016 The 8th International Conference on Interprofessional Practice and Education, Oxford, UK, Sept. 2016

Junji Haruta, Raoul Breugelmans, Hiroshi Nishigori: Cultural adaptation and validation of the Japanese version of the Interprofessional Facilitation Scale (IPFS). An International Association For Medical Education (AMEE), Barcelona, Spain, August, 2016

Junji Haruta, Michiko Goto, Yohei Mori, Shuhei Ichikawa, Kazue Yoshida, Hisashi Yoshimoto, Kenji Yoshim: Development of an interprofessional competency framework in Japan. Poster Presentation for All Together Better Health VIII, Oxford, United Kingdom, September, 2016

Kinoshita K, Tokuda Y: Diagnostic Error Knowledge in Residents. A Nationwide Study in Japan, SHM Annual Meeting 2016, San Diego USA, 2016年3月

Hashimoto Eitaro, Santo Noriaki, Miyamoto Yuya, Onuki Yuka, Simizu Yuichi, Suzuki Tomoharu, Sasaki Susumu, Shirokawa Taijiro, Ishioka Haruhiko, Yano Harumi,

Kobayashi Hiroyuki: Urease-positive *Corynebacterium*-induced Urinary Tract Infection Mimicking Acute Ischemic Stroke. ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集, 2016巻, P. 110, June. 2016

Nagasaki Kazuya, Suzuki Tomoharu, Kobayashi Hiroyuki, Tokuda Yasuharu: A Case of Disclosed Diagnosis with Nearmiss Premature Closure. ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集, 2016巻, P. 110, June. 2016

Suzuki Tomoharu, Kobayashi Hiroyuki, Tokuda Yasuharu: Yellow nail syndrome developed after the permanent implantation of a cardiac pacemaker. ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集, 2016巻, P. 110, June. 2016

松下綾, 佐藤卓也, 堤円香, 春田淳志, 前野哲博: 薬剤師が問診補助ツールを用いて診察前に病歴を聴取することで医師の診察時間を短縮できるか?. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

佐藤卓也, 堤円香, 松下綾, 前野哲博: ドラッグストアにおける症状を訴える来局者への薬剤師の対応や意識についての実態調査. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京都台東区浅草, 2016年6月

梶川奈月, 小國英一, 関義元, 関昇子: 薬剤調整に難渋したがバクロフェン持続髄注の増量が奏功した Stiff-Person 症候群の一例. 第628回日本内科学会関東地方会, 東京, 2016年11月

渡邊久実, 田中笑子, 渡辺多恵子, 奥村理加, 伊藤澄雄, 安梅勅江: 地域在住高齢者の社会関連性が介護予防に及ぼす効果. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年11月

鈴木諭, 加藤円, 比嘉研, 小林修, 大塚隆幸, 深澤尚伊: 領域別専門医からのコンバート型総合診療医が求める再研修内容についての意識調査. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ポスター, 2016

中村大輔, 加藤円, 比嘉研, 小林修, 大塚隆幸, 深澤尚伊, 鈴木諭: 中山間地域の総合病院における病院総

合医の役割に関する検討. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ポスター, 2016

鈴木諭, 鈴木真紀子: 中山間地域総合病院が行う在宅緩和ケアのあり方とは. 第18回日本在宅医学会大会ポスター, 2016

丸山梓, 松尾良子, 比嘉研, 鈴木諭, 橋本由紀子, 藤原一男: 壮年男性の視神経脊髄炎関連疾患の一例. 第13回日本病院総合診療医学会学術総会 ポスター, 2016

渡邊健太, 牟田裕美子, 小林修, 鈴木諭, 石田克敏, 大野順弘, 小島勝, 石崎卓馬, 小磯博美, 半田寛, 竹内公彦: 上部消化管からの生検でリンパ増殖所見を認めた MTX 関連リンパ増殖性疾患の一例. 第13回日本病院総合診療医学会学術総会 ポスター, 2016

佐久間崇文, 有賀啓之, 熊倉有里, 鹿志村純也, 佐藤匡美, 塚本俊太郎, 松村英樹, 石橋敦, 近藤匡, 渡辺宗章: 金属ステントにより Bridge to Surgery (BTS) が可能であった横行結腸癌の一例. 日本消化器病学会, 関東支部第340回例会, 東京, 2016年7月

佐久間崇文, 戒能賢太, 藤井優尚, 熊谷亮, 五十野桃子, 村松愛子, 塩入瑛梨子, 長崎一哉, 中村太一, 高屋敷典生, 野牛宏晃: PTHrP 産生骨原発性 B 細胞性リンパ腫により高 Ca 血症を呈した一例. 日本内分泌学会, 第26回臨床内分泌代謝 Update, 埼玉, 2016年11月

上田愛瑠萌, 丸山沙彩, 佐久間崇文, 五十野博基: パーキンソン病を背景とした偶発的低体温症の1例. 第114回内科学会中国地方会, 岡山, 2016年5月

熊谷亮, 佐久間崇文, 戒能賢太, 藤井優尚, 五十野桃子, 村松愛子, 田村祐規, 島田薫, 梶有貴, 鈴木智晴, 塩入瑛梨子, 小林裕幸, 中村太一, 野牛宏晃: 維持透析中に臍性糖尿病より高血糖、糖尿病性舞踏病を認めた一例. 日本内分泌学会雑誌 (0029-0661) 92巻2号, P.527, 2016年10月

任瑞, 柳葉久美, 石井亜紀子, 玉岡晃, 中澤一弘, 前野哲博: 下肢感覚障害, 下肢遠位の筋力低下, 血清 IgM 高値から MGUS 関連ニューロパチーが疑われた1例. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会,

東京都台東区浅草, 2016年6月

稲葉崇, 大澤亮, 大澤さやか, 宮崎賢治, 久野遙加, 高橋弘樹, 高屋敷明由美, 春田淳志: 後期研修医による「RATカリキュラム」の開発. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

川嶋久恵, 稲葉崇, 木下賢輔, 小林裕幸, 牟田裕美子, 小島栄治, 大石悠太, 渡辺重行: 右肺優位の陰影を呈し当初大葉性肺炎と診断された, 感染性心内膜炎による急性心不全の一例. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

足立真穂, 稲葉崇, 五十野博基: PPIが原因と考えられる慢性下痢の1例. 第627回内科学会関東地方会, 東京, 2016年10月

稲葉崇: 「筑波での後期研修と今後の展望」(シンポジウム3「出航する新専門医制度」シンポジスト). 第13回日本病院総合診療医学会学術大会, 東京, 2016年9月

東端孝博, 久永貴之, 杉原有希, 東健二郎, 長田明, 志真泰夫: 緩和ケア病棟におけるインスリンを用いた糖尿病治療の現状. 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月

高橋聡子, 吉本尚, 高屋敷明由美: 日本のプライマリ・ケアにおけるアルコール問題の頻度. 第51回日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 東京, 2016年10月

斎藤剛, 吉本尚, 高屋敷明由美, 竹村洋典: Binge drinking と外傷との関連～日本の大学生・大学院生における多施設横断調査. 平成28年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 東京, 2016年10月

斎藤剛, 井坂ゆかり, 吉本尚: 人をまもり地域をまもる「北茨城防衛軍」育成への取り組み. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

斎藤剛: 人を診る, 地域を診る. Teaching pearl コンテスト(プレゼンテーションコンテスト). 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

片岡義裕, 高屋敷明由美, 佐藤幹也, 前野哲博: 地域枠学生が医師不足地域に定着しようとする意志の変化についての記述的研究. 第48回日本医学教育学会, 大阪, 2016年7月

片岡義裕, 前野哲博, 阿波谷敏英, 井口清太郎, 井上和男, 大脇哲洋, 岡山雅信, 梶井英治, 竹内啓祐, 谷憲治, 長谷川仁志, 前田隆浩, 村上啓雄, 山本和利, 三瀬順一, 神田健史: 全国の地域医療教育プログラムの現状に関するアンケート調査結果-続報-. 第48回日本医学教育学会, 大阪, 2016年7月

細井崇弘, 家城隆次: トルエンジイソシアネートの大量暴露後に呼吸機能障害が遷延した1例. 第629回内科学会関東地方会, 東京, 2016年12月

永宮明澄香, 菅野勝司, 関根みちよ, 川村知子, 矢野博義, 大山晃康, 関澤貴信, 一色滉平, 伊東佑梨, 西功, 呉龍梅, 中澤陽子, 伊藤慎, 鈴木祥司: 当院における心不全患者へのチーム医療としての看護師の取り組み～入退院を繰り返す心不全患者への指導を通して～. 第13回茨城心大血管リハビリテーション・運動生理研究会, つくば, 2016年5月26日

伊藤慎, 渡辺康子, 端山幹大, 栗原宏, 金子光太郎: インスリン強化療法中に当初うつ病として治療したACTH単独欠損症の一例. 第207回茨城県内科学会, 水戸, 2016年6月11日

伊藤慎, 河村由吏可, 高屋敷明由美, 前野貴美, 瀬尾恵美子, 前野哲博: 指導医の労働状況・指導状況および燃えつき(バーンアウト)について. 第48回医学教育学会大会, 大阪, 2016年7月

一色滉平, 西功, 矢野博義, 関澤貴信, 大山晃康, 門奈芳生, 永宮明澄香, 伊東佑梨, 磯山賢, 呉龍梅, 伊藤慎, 鈴木祥司: 当院の心大血管リハビリテーションにおける新たな取り組みと今後の課題. 第70回 国立病院総合医学会, 沖縄, 2016年11月12日

五十野桃子, 古川祥子, 熊谷亮, 藤原和哉, 野牛宏晃: 肥満2型糖尿病患者に対するGLP-1受容体作動薬とSGLT-2阻害薬Dapagliflozin長期併用の有効性の検討. 第60回日本糖尿病学会年次学術総会, 京都, 2016年5月

鈴木智晴, 五十野桃子, 田村智宏, 大原元, 籠橋克紀, 佐藤浩昭: 腎機能障害のため照射のみが選択され経過中に腎機能改善がみられた肺扁平上皮癌の1例. 日本内科学会関東地方会622回, P.43, 2016年3月

藤井優尚, 古川祥子, 五十野桃子, 大矢和正, 熊谷亮, 辻浩史, 藤原和哉, 野牛宏晃: 1型糖尿病の経過中に多発性硬化症を発症した1例. 糖尿病 (0021-437X) 59巻8号 P.618, 2016年8月

牟田裕美子, 古川祥子, 戒能賢太, 朝田智之, 糸井寛, 熊谷亮, 五十野桃子, 小林裕幸, 藤原和哉, 野牛宏晃: 高血糖高浸透圧症候群により可逆性脳梁膨大部病変を有する脳症を来した2型糖尿病の1例. 糖尿病 (0021-437X) 59巻8号, P.603, 2016年8月

北原多佳子, 古川祥子, 熊谷亮, 五十野桃子, 城川泰司郎, 小林裕幸, 青柳安典, 秋月浩光, 矢野晴美, 藤原和哉, 野牛宏晃: 血糖治療自己中断後に、中耳炎からBezold膿瘍に至った2型糖尿病の1例. 糖尿病 (0021-437X) 59巻8号, P.600, 2016年8月

熊谷亮, 古川祥子, 五十野桃子, 藤原和哉, 辻浩史, 渡辺悠, 富永さやか, 小林裕幸, 野牛宏晃: 血糖コントロール再開後に突然発症した糖尿病性舞蹈病の1例. 糖尿病 (0021-437X) 59巻8号, P.611, 2016年8月

五十野博基, 宮上泰樹, 片山皓太, 五十野桃子, 長谷川隆一, 矢野晴美, 小林裕幸: 高齢者に発症した破傷風の3例. 第43回日本集中治療医学会学術集会, 神戸, 2016年2月13日

高木雅生, 五十野博基, 長谷川隆一: ICU長期滞在患者の背景と予後. 第43回日本集中治療医学会学術集会, 神戸, 2016年2月12日

並木かほる, 五十野博基, 入山大希: 前立腺癌蝶形骨洞転移の一例. 第622回関東地方会, 東京, 2016年3月12日

渡邊亜美, 島田薫, 五十野博基, 千野裕介: 巨細胞性動脈炎で視力障害を来した1例. 日本内科学会関東地方会629回, P.55, 2016年12月

高木雅生, 五十野博基, 長谷川隆一: ICU長期滞在患者の背景と予後. 日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988) 23巻 Suppl, P.530, 2016年1月

小濱伸太, 阪井歩美, 高木博: 高齢者ポリファーマシーにおける患者意識調査—多剤服用感と減薬期待感—. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

品田隆浩, 梅島貴生, 小濱伸太, 高木博, 渡辺朋子, 石井敏浩: 専任薬剤師による在宅薬剤管理指導業務の収支に関する研究. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

小濱伸太, 阪井歩美, 高木博: 訪問薬剤の利用が在宅高齢者のポリファーマシーに与える影響. 第18回日本在宅医学会学術大会, 東京, 2016年7月

宮澤麻子, 前野貴美, 釋文雄, 堤円香, 高屋敷明由美, 河野元嗣, 鈴木将玄, 前野哲博: 時間外に軽症で救急外来を受診する患者の特性と受診理由の検討. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会, 東京, 2016年6月

宮澤麻子, 横谷省治, 吉本尚, 斎藤剛, 高橋聡子, 稲津和歌子, 地田真理, 荻津利恵, 村田真由美, 前野哲博: 北茨城市民病院附属家庭医療センター開院6ヶ月における在宅診療実績と地域の在宅医療活性化. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会, 東京, 2016年6月

吉本尚, 五十野博基, 大塚貴博, 大澤さやか: 一歩進んだアルコール問題の発見と介入. 第11回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 東京, 2016年2月

吉本尚, 高屋敷明由美, 竹村洋典: 日本の3大学における過剰なアルコール使用の現状とその自己認識との関連. 第38回日本アルコール関連問題学会 秋田大会, 秋田, 2016年9月

田口有里恵, 吉本尚, 池田俊也: 我が国の高リスク飲酒者へのスクリーニングとブリーフ・インターベンションの実施に関する考察—実現可能性と費用対効果の観点から—. 第54回日本医療・病院管理学会学術総会, 東京, 2016年9月

吉本尚：プライマリケアの現場におけるハーム・リダクション. 平成28年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 東京, 2016年10月

吉本尚：アルコール健康障害基本法施行で変わるプライマリケアの現場. 平成28年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 東京, 2016年10月

加藤士郎, 玉野雅裕, 小曾根早知子, 麦原匡史：胃瘻症例に対する補気剤と気血双補剤の経口摂取移行と胃瘻中止の促進効果. 第113回日本内科学会総会, 東京, 2016年4月

玉野雅裕, 加藤士郎, 小曾根早知子：補中益気湯による誤嚥性肺炎予防効果の臨床的検討. 第113回日本内科学会総会, 東京, 2016年4月

春田淳志, 小曾根早知子, 浜野淳：総合診療専門医はどのように医師として学び, アイデンティティを獲得したか? 第1報. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

芦野朱, 春田淳志：診療所事務のコンピテンシー (第2報) ~組織化することで認識される事務の視点・能力~. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 浅草, 2016年6月

川越亮承, 春田淳志, 高屋敷明由美, 前野哲博：離島における医師の研修と生涯教育. 第48回医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月

春田淳志：多職種FDにおける医学教育者としての立場性の省察. 第48回医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月

牟田裕美子, 渡辺重行, 大石悠太, 小島栄治, 外山昌弘, 黒田裕久, 木下賢輔, 金井貴夫, 小林裕幸：陰性T波がII, III, aVFだけに見られたら, 下壁の虚血を含む心疾患が高率に存在する. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年8月

渡辺重行, 鈴木秀鷹, 牟田裕美子, 大石悠太, 小島栄治, 外山昌弘, 黒田裕久, 木下賢輔, 金井貴夫, 小林裕幸：Sharp ST-T angle の日常診療における意義. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年

8月

大石悠太, 渡辺重行, 牟田裕美子, 小島栄治, 外山昌弘, 黒田裕久, 木下賢輔, 金井貴夫, 小林裕幸：日常診療において見られる心電図U波異常の意義. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年8月

渡辺重行, 大石悠太, 牟田裕美子, 小島栄治, 外山昌弘, 黒田裕久, 木下賢輔, 金井貴夫, 小林裕幸, 内田誠一, 木村祥子：日常診療における右側胸部誘導QRS異常 (small q, narrow r, reversed r) の意義. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年8月

上田淳夫, 矢口勇治, 三浦哲男, 中村浩司, 玉井清子, 鈴木広道：性能評価試験 自動多項目同時遺伝子検出 Verigene システム Clostridium difficile パネル. 第27回日本臨床微生物学会学術集会, 仙台, 2016年1月

浜野淳, 徳田安春：バイタルサインの変化から細菌感染症を予測する方法の検証. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

浜野淳, 森田達也, 福井小紀子, 木澤義之, 恒藤暁, 志真泰夫, 青山真帆, 宮下光令：在宅がん患者のQOLに影響を与える医療者の関わり：J-HOPE3附帯研究. 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月

川島夏希, 浜野淳, 久永貴之, 大北淳也, 萩原信悟, 矢吹律子, 下川美穂, 長岡広香, 志真泰夫：終末期がん患者に対する肺炎診療の実態：緩和ケア病棟入院患者の後ろ向き観察研究. 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月

阪本直人, 近藤尚己, 佐々木由紀：情報通信技術 (ICT) の活用でヘルスリテラシー格差は減らせるか?. 座長・講演・ファシリテーター, プレコンgressワークショップ, 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

島内憲夫, 阪本直人, 長岡知, 福田洋, 鈴木美奈子：“Introducing two of the representative ICT case studies in Japan” (スライド制作). Development and Future

of Health Informatics for Health Promotion. Symposium “Applications of health informatics in different sectors”, Taiwan for 2016 International Conference on Health Promotion, Taipei, 2016年12月

河村由吏可, 高屋敷明由美, 伊藤慎, 前野貴美, 瀬尾恵美子, 前野哲博: 指導医の燃えつき(バーンアウト)と関連する因子. 第48回医学教育学会大会, 大阪, 2016年7月

高屋敷明由美, 片岡義裕, 佐藤幹也, 前野哲博: 全国の地域枠学6年生の将来の進路希望と地域枠に関する考え. 第48回日本医学教育学会, 大阪, 2016年7月

長岡広香, 川島夏希, 清水真理, 風間郁子, 入江佳子, 馬場玲子, 百賢二, 飯嶋千裕, 小林千恵, 浜野淳, 千葉滋: 造血幹細胞移植後アデノウイルス出血性膀胱炎による難治性疼痛をきたした2例. 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月

谷詩織, 岩井和子, 石川公久, 上野友之, 長岡広香, 羽田康司: 入院中の終末期がん患者への作業療法が患者のQOLに与える影響. 第21回日本緩和医療学会, 京都, 6月, 2016

橋本真治, 小田竜也, 大河内信弘, 長岡広香: がん終末期前の緩和的膣頭十二指腸切除術は許容できるか?. 第21回日本緩和医療学会, 京都, 6月, 2016

長岡広香: 緩和医療が求める院内製剤~医師の視点から~. 日本薬学会第137年会, 仙台, 3月, 2017

小沢昌慶, 内田温, 菊地和徳, 椎貝真成, 鈴木将玄, 松崎寛二: 右鎖骨下静脈のintravenous lobular capillary hemangiomaの1例. 第105回日本病理学会総会, 仙台, 2016年5月

鈴木将玄: 茨城県指導医派遣事業報告 沖縄編. 茨城県指導医シンポジウム, 水戸, 2016年2月

上村公介, 高村典子, 城川泰司郎, 小林裕幸, 矢野晴美: Mycoplasma pneumoniae肺炎の治療過程で髄膜炎を合併した症例. 感染症学雑誌(0387-5911)90巻臨増, P.348, 2016年3月

河合瞳, 高屋敷典生, 野口雅之, 小林裕幸, 渡邊重行: 「マクロ臓器に触れたか」水戸協同病院におけるMacroscopic CPCの紹介. 医学教育(0386-9644)47巻Suppl, P.253, 2016年7月

杉浦敦, 市田宏司, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 松田秀雄, 高野政志, 桃原祥人, 小林裕幸, 佐久本薫, 太田寛, 石橋理子, 藤田綾, 高橋尚子, 吉野直人, 田中瑞恵, 外川正生, 喜多恒和: HIV感染妊婦における分娩様式に関する検討. 日本エイズ学会誌(1344-9478)18巻4号, P.506, 2016年11月

杉浦敦, 市田宏司, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 松田秀雄, 高野政志, 桃原祥人, 小林裕幸, 佐久本薫, 太田寛, 石橋理子, 藤田綾, 高橋尚子, 吉野直人, 田中瑞恵, 谷口晴記, 蓮尾泰之, 塚原優己, 外川正生, 喜多恒和: 最近のHIV母子感染予防対策における問題点の検討. 日本産婦人科感染症学会学術講演会プログラム・抄録集33回, P.46, 2016年7月

前野哲博: 徹底討論!多職連携教育(IPE)は薬学教育に何をもちたらすのかかかりつけ薬局で働く薬剤師向けの新しいIPEプログラムの開発. 日本薬学会第136年会, 横浜市, 2016年3月

前野哲博, 鈴木英雄, 瀬尾恵美子, 小川良子, 沼尻晴子, 前野貴美, 高屋敷明由美: 指導医養成講習会におけるワールドカフェを取り入れた共有の試み. 第48回日本医学教育学会大会, 大阪, 2016年7月

講演

鈴木諭: 群馬県内で開催された「緩和ケア研修会」の身体ファシリテーターとして2回講義, 2016

鈴木諭: 医療圏内の小学校で5年生対象に「心と体のつながり」についての授業, 2016

宮崎賢治: 生活習慣病予防の食事・運動習慣, 利根町国保診療所. オレンジカフェ, 2016年11月21日

宮崎賢治: 利根町医師団によるちょっといい話 アラカルト. 利根町公民館, 2016年12月11日

任瑞, 指導・監修 阪本直人: 喫煙予防教室. 波崎第3中学校6学年, 神栖市, 2016年3月

上田篤志, 指導・監修 阪本直人: 喫煙予防教室. 波崎第4中学校1学年, 神栖市, 2016年2月

上田篤志, 橋本恵太郎, 木村紀文, 佐久間崇文, 福田幸寛, 上村公介, 稲葉崇, 五十野博基: セッション「つくば式診断学」, 日本プライマリ・ケア連合学会 夏期セミナー

高橋弘樹, 任明夏, 宮崎賢治: 一歩進んだ医療面接. 総合診療☆家庭医療セミナー in Tsukuba, 筑波大学, つくば, 2016年11月

久野遙加, 川島夏希, 大北淳也, 東端孝博, 浜野淳: できていますか? 総合診療医/家庭医らしい End of life care. 日本プライマリ・ケア連合学会第11回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 東京, 2016年2月

久野遙加, 木村洋輔: ユマニチュード～あなたを大切に思うケア～. 大和クリニック合同カンファレンス, 桜川市, 2016年6月

稲葉崇, 大塚貴博: 東邦大学ジェネラリストセミナー 2016 TEAMS-BP「業務の改善の仕方」ファシリテーター, 2016年12月

細井崇弘, 片岡義裕, 前野哲博, 横谷省治, 永藤瑞穂, 高橋弘樹, 竹内優都: 総合診療医のキャリアについて語ろう. 第3回総合診療・家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba, つくば, 2016年11月

伊藤慎: 健康診断にひっかかったら～医療機関を受診しましょう～. 霞ヶ浦医療センター市民公開講座, 土浦, 2016年7月7日

山本由布, 竹内優都, 宮崎賢治, 中野寛也, 任瑞, 任明夏, 劉彦伯: 医療面接で体験! 患者中心の医療第一歩. 第28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 湯河原, 2016年8月

山本由布: 第4回特任指導医養成講習会 タスクフォース. 札幌, 2016年8月

山本由布, 芦野朱, 荻野利沙, 久野遙加: 学校では教えてくれない? 医療にまつわるおカネの話. 第3回総

合診療★家庭医療全国公開セミナー in Tsukuba, 筑波, 2016年11月

講師 山口和人, ファシリテーター 五十野博基 他: TEAMS-BP 業務の改善の仕方研修. つくば, 2016年1月11日

講師 五十野博基: TEAMS-BI 仕事の教え方研修. つくば, 2016年1月16日

講師 五十野博基, コメンテーター: 徳田安春: 内科身体診察シミュレーション “Key Aspects of Internal Medicine Exam Using Simulation”. The 1st International General Medicine Festival (IGMF), 浦安, 2016年5月

上田篤志, 五十野博基, 他: つくば式診断学. 学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 湯河原, 2016年8月8日

シンポジスト 清田雅智, 五十野博基, 石山貴章, Dr. James S Newman: シンポジウム「日本のホスピタリストの現状・課題と展望」. 日米 Hospital medicine Joint symposium The 4th JHospitalist Network seminar, 浦安, 2016年10月1日

講師 山口和人, ファシリテーター 五十野博基, 他: TEAMS-BP 業務改善の仕方研修. つくば, 2016年11月5日

講師 五十野博基: 8番勝負③茨城県総合的診療を学ぶ特訓ゼミ第3シリーズ. 大洗, 2016年11月12日

大塚貴博: 総合診療について. 第23回埼玉県北部小児疾患研究会, 熊谷, 2016年9月

藤沼康樹, 松村真司, 大塚貴博: ポートフォリオのトリセツ～作成から指導まで～. 第5回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会, 前橋, 2016年11月

大塚貴博: 生き生き人生のために知っておきたい5つのこと. 大麻生公民館いきいきふれあい講座, 熊谷, 2016年12月

笹沼宏年, 高木博, 大澤さやか, 木村洋輔: もし, 薬局で人が倒れたら～薬局での初期対応. 第45回薬学フォーラムゆうき, 筑西市, 2016年3月

高木博, 前野哲博: PCs 関東勉強会「家庭医療×大学教育」シンポジスト. 東京医科歯科大学, 東京, 2016年5月

高木博: 訪問診療について. 川崎セツルメント診療所職員勉強会, 神奈川, 2016年6月

高木博, 松澤廣希, 宇井睦人: 複雑事例の困難さを楽しむ. CFMD レジデントセミナー, 東京, 2016年7月

岡崎寛子, 里井善尚, 仲野唯, 民部貴士, 勝又聡彦, 高木博, 清田実穂: 秋田大学80大学行脚プロジェクト「ヘルスプロモーション」. 秋田, 2016年9月

高木博: 認知症について. 川崎医療生協古向支部第1回医療講演会, 神奈川, 2016年9月

高木博: アレルギーについて. 川崎セツルメント診療所親子カフェ, 神奈川, 2016年9月

高木博: ぜん息の治療と日ごろ気をつけたいこと. 公害喘息勉強会, 神奈川, 2016年9月

高木博: 「地域包括ケア（地域医療構想）時代に立ち向かう民医連医療とそれを担う医師確保・養成の前進へ向けて」シンポジスト. 第21回神奈川民医連医師総会シンポジウム, 神奈川, 2016年11月

高木博: ミニレクチャー「行動変容」. CFMD レジデントセミナー, 神奈川, 2016年11月

稲葉崇, 任瑞, 坂倉明恵, 上田篤志, 大澤亮, 高木博: 診療所救急. 第3回総合診療☆家庭医療全国セミナー in Tsukuba, つくば市, 2016年11月

高木博: 医療安全学習会. 川崎セツルメント診療所職員勉強会, 神奈川, 2016年12月

高木博: 診療所×救急～在宅編. CFMD レジデントセミナー, 東京, 2016年12月

高木博: 行動変容. 川崎セツルメント診療所職員勉強会, 神奈川, 2016年12月

Hiroshi Takagi, Yuko Takeda: International Session (Poster) 座長. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 東京, 2016年6月

木村洋輔: がん疼痛の評価と治療. 平成27年度茨城県緩和ケアカンファレンス, 茨城県筑西市 県西生涯学習センター, 2016年1月19日

木村洋輔: 在宅医療・介護連携について. 平成27年度第4回桜川市地域ケアシステムサービス調整会議, 茨城県桜川市真壁伝承館, 2016年3月16日

木村洋輔: 高齢者の在宅介護等についての対応について. 真壁地区民生委員児童委員協議会定例会, 茨城県桜川市真壁福祉センター, 2016年7月20日

木村洋輔: 「地域連携と治療・療養の場の選択」「オピオイドを開始するとき」. PEACE 第3回埼玉協同病院緩和ケア研修会, 埼玉県埼玉協同病院, 2016年7月19日

木村洋輔: かかりつけ医の在宅医療・緩和医療. 日医かかりつけ医機能研修制度平成28年度応用研修会, 茨城県医師会, 2016年7月20日

木村洋輔: 認知症④「アルツハイマー型認知症の中期の支援」. 平成27年度第12回大和クリニック多職種合同カンファレンス, 茨城県桜川市, 2016年3月17日

木村洋輔: 在宅スタッフで互いに考える, 私たちの地域の在宅支援に必要な知識や技術. 平成28年度第1回大和クリニック多職種合同カンファレンス, 茨城県桜川市, 2016年4月21日

木村洋輔: 病院医師との連携の取り方. 平成28年度第2回大和クリニック多職種合同カンファレンス, 茨城県桜川市, 2016年5月27日

木村洋輔, 任瑞: 家庭に必須のスキル, 患者中心の医療の紹介. 平成28年度第6回大和クリニック多職種合同カンファレンス, 茨城県桜川市, 2016年9月29日

木村洋輔, 中澤一弘: みんなで予防・治療する褥瘡.
平成28年度第9回大和クリニック多職種合同カンファ
レンス, 茨城県桜川市, 2016年12月16日

木村洋輔: 在宅医療と看護に関する市民講演会および
シンポジウム シンポジスト, 桜川市在宅医療介護
連携推進事業, 茨城県桜川市大和ふれあいセンター,
2016年1月23日

宮澤麻子: 日本版 TransHis プロジェクト紹介 シン
ポジスト, 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術
集会シンポジウム19 日本版 TransHis プロジェクト結
果報告会, 東京, 2016年6月12日

宮澤麻子: 本人の意向を優先するという事 シンポ
ジスト, 北茨城市コミュニティケア研究会5周年記念
シンポジウム, 市民ふれあいセンター, 北茨城, 2016
年9月11日

宮澤麻子, 地田真理: 感染予防の原則, ノロウイルス
対策, インフルエンザについて, 北茨城市民病院附属
家庭医療センター職員研修感染対策研修会2, 北茨城,
2016年2月24日

宮澤麻子: 医療安全の基本的な考え方, 応用編, 北茨
城市民病院附属家庭医療センター職員研修医療安全研
修会2, 北茨城, 2016年2月24日

宮澤麻子: みんなでできる認知症の予防と早期発見
～地域でいきいき生きる～, 北茨城市立水沼診療所,
北茨城, 2016年6月29日

宮澤麻子: 家庭医療センターにおける在宅医療の立ち
上げ, 自治医科大学茨城県人会学術集会, 北茨城市民
病院, 北茨城, 2016年8月28日

宮澤麻子, 海老原稔: 「在宅医療」を知っていますか?
北茨城市コミュニティケア研究会5周年記念講演, 市
民ふれあいセンター, 北茨城, 2016年9月11日

宮澤麻子: 医療安全の基礎, 医療安全クイズ, 北茨城
市民病院附属家庭医療センター職員研修医療安全研修
会1, 北茨城, 2016年10月26日

宮澤麻子: 北茨城における家庭医療の実践, 県北総合

診療セミナー, ホテル天地閣, 日立, 2016年12月7日

吉本尚, 五十野博基, 大塚貴博, 大澤さやか: 一歩進
んだアルコール問題の発見と介入, 第11回若手医師の
ための家庭医療学冬期セミナー, 東京, 2016年2月

吉本尚: 総合診療から見た患者中心の医療～地域包
括ケアにおける医療職の役割とは～, NPO 法人患者
中心の医療を共に考え共に実践する協議会 学ぶ会,
2016年2月

吉本尚: 多職種連携教育について～その歴史と国内の
動向～, 第12回富山県地域医療フォーラム, 2016年3
月

吉本尚: 多職種連携について～現場で求められる人にな
るために, とやま多職種連携教育プロジェクトとや
まいびー振り返り大会, 2016年3月

藤田尚己, 吉本尚, 林幹雄: アルコール問題への介
入～内科医の視点とプライマリ・ケア医の視点～,
ACP (米国内科学会) 日本支部 年次総会2016, 京都,
2016年6月

吉本尚, 山本由布: 一歩進んだアルコール問題の発見
と介入, 第22回関東家庭医療ネットワーク研修会, 東
京, 2016年9月

吉本尚: 総合診療を学ぶ～対物から対人へ 第一部
「BPS モデル」, 2016年度薬剤師生涯学習講座ベース
アップ・アドバンストコース, 2016年10月

吉本尚: 総合診療を学ぶ～対物から対人へ 第二部「患
者中心の医療の方法」, 2016年度薬剤師生涯学習講座
ベースアップ・アドバンストコース, 2016年10月

吉本尚: 総合診療を学ぶ～対物から対人へ 第三部「家
族志向のケア」「ヘルスプロモーション」, 2016年度薬
剤師生涯学習講座 ベースアップ・アドバンストコー
ス, 2016年10月

吉本尚: 家庭医のワークライフ～男性医師編, 第3回
総合診療塾/女性医師のキャリア形成を考える会ジョ
イント企画「家庭医のワークライフバランスを考える
会」, 2016年10月

小曾根早知子：家庭医のワークライフ～女性医師編。第3回総合診療塾/女性医師のキャリア形成を考える会ジョイント企画「家庭医のワークライフバランスを考える会」, つくば, 2016年10月

小曾根早知子：医学生から現場で働く医師になるまで。つくば市立並木中等教育学校マイフューチャーセミナー, つくば, 2016年9月

春田淳志, 芦野朱, 市川周平, 後閑良平, 本多淑恵, 山本由布, 吉本尚：プレコンgresワークショップ臨床現場の多職種連携能力をどのように評価できるか?。第7回プライマリ・ケア連合学会学術集会, 浅草, 2016年6月

春田淳志, 市川周平, 本多淑恵, 後閑良平, 山本由布, 吉本尚：プレコンgresワークショップ24「臨床現場の多職種連携能力をどのように評価できるか?」。第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 プレコンgresワークショップ24, 東京, 2016年6月

大塚真理子, 春田淳志, 畔上光代, 神山裕美, 藤林慶子：各職種の IPE・IPW に必要な資質は何か?。チーム医療推進協議会, 品川, 東京, 2016年1月31日

春田淳志：ケアカフェ笠間。2016年2月26日

大塚真理子, 鶴岡浩樹, 國澤尚子他主催：認知症高齢者の長期療養を IPW で支えるリーダー研修会。ファシリテーター：野呂牧人, 山崎あすか, 竹野みはる, 春田淳志, 磯部光代, 酒本隆敬, 亀井沢郁子, 2016年2月11日

春田淳志, 芦野愛：多職種連携ワークショップ。諏訪中央病院, 諏訪, 2016年4月

春田淳志：「家庭医療ポートフォリオ」他。諏訪中央病院, ポートフォリオ合宿, 諏訪, 2015年1月

春田淳志, 市川周平, 本多淑恵, 後閑良平, 山本由布, 吉本尚：臨床現場の多職種連携能力をどのように評価できるか?。プライマリ・ケア連合学会学術大会プレコンgresワークショップ, 2016年5月

田中雅之, 宇井睦人, 柏木秀行, 田直子, 今永光彦,

宮森正, 相木佐代, 春田淳志：誰も教えてくれなかった御看取り。プライマリ・ケア連合学会学術大会プレコンgresワークショップ, 2016年6月

春田淳志：連携について学ぶ。和歌山県立医科大学, 2016年6月

春田淳志, 横谷省治, 前野貴美, 吉本尚：教員免許講習会。筑波大学, 2016年6月

春田淳志：多職種連携教育。日本医療福祉生活協同組合連合会家庭医療学開発センター, 第4期診療所看護指導者研修, 東京, 2016年7月

藤崎和彦, 錦織宏, 渡邊洋子, 春田淳志：プレコンgresワークショップ。医学教育専門家制度におけるポートフォリオ作成ワークショップ, 第48回医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月

春田淳志, 山岸紀子, 片岡竜太, 石川さと子, 小林毅, 小原眞知子：シンポジウム15「医学教育に期待する連携コンピテンシーは何か?」。第48回医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月

春田淳志：多職種連携教育 Faculty Development。三重大学, 2016年7月

春田淳志, 前野貴美, 山本由布, 後藤亮平：現場の多職種連携を評価するワークショップ。東京, 2016年10月

春田淳志：地域包括ケアと多職種連携教育。日本医療福祉生活協同組合連合会家庭医療学開発センター, 東京, 2016年10月

春田淳志：日本に求められる多職種連携コンピテンシー。チーム医療推進協議会, 田町, 東京, 2016年11月

藤崎和彦, 錦織宏, 渡邊洋子, 春田淳志：医学教育学会認定医学教育専門家ポートフォリオ評価者講習会。京都大学, 京都, 2016年11月

春田淳志, 山本由布, 後閑良平, 本田淑恵, 佐野樹, 上原優子, 山路由実子：専門職連携ワークショップ

他者を理解する。多職種連携を円滑にすすめるワークショップ，東京，2016年11月

春田淳志，前野貴美，山本由布，後藤亮平：現場の多職種連携を評価するワークショップ。東京，2016年12月

木下賢輔，高屋敷明由美：症候4 全身倦怠感。筑波大学 M4講義，つくば，2016年4月25日

木下賢輔：論文の探し方～はじめての抄読会 その2～（研修医向け）。水戸協同病院講演，水戸，2016年2月23日

木下賢輔：水戸協同病院闘魂外来。GIM Intensive Review 2016，東京，2016年8月13日

木下賢輔：当院で行う緩和ケア。水戸協同病院講演，水戸，2016年8月24日

木下賢輔：がん疼痛のマネジメント（研修医向け）。水戸協同病院講演，水戸，2016年11月1日

鈴木広道：市中病院を対象として臨床研究を計画するときに注意点。筑波大学医学セミナー，茨城，2016年2月

鈴木広道：シンポジウム「血流感染症の治療戦略と遺伝子診断」。第27回日本臨床微生物学会学術集会，仙台，2016年1月

平井理心，小田倉富雄，宮崎文子，小室光司，石塚伸，浜野淳：院内調整と医療メデイエーション。第5回日本医療コンフリクト・マネジメント学会学術大会，東京，2016年1月

浜野淳：がん終末期研修。茨城県看護協会訪問看護支援事業講師，水戸，2016年1月

浜野淳：在宅緩和ケア概論。茨城県在宅医療・介護連携拠点事業多職種協働による在宅チーム医療のための地域リーダー研修会，つくば，2016年2月

浜野淳：チーム医療に求められるコミュニケーションとリーダーシップ。第5回いばらき神経・運動・機能

障害ケア研究会，つくば，2016年2月

平井理心，石塚伸，浜野淳，本間覚：患者相談から医療安全へー筑波大学附属病院の医療メデイエーション体制ー。第2回日本医療安全学会学術集会，東京，2016年3月

浜野淳：がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会。ファシリテーター，つくば，2016年3月

浜野淳：県南地域の地域包括ケアと在宅医療。第1回在宅医療研究会，牛久，2016年3月

浜野淳：医療連携の今と未来。第一三共株式会社社員研修会，つくば，2016年3月

浜野淳：薬剤師の視点で考える Polypharmacy の意義。つくば臨床薬剤学セミナー，つくば，2016年5月

浜野淳：糖尿病領域における在宅医療・ケア。日本看護協会認定看護師教育糖尿病看護学科，講師，東京，2016年5月

浜野淳：糖尿病領域における在宅療養の実践。日本看護協会認定看護師教育糖尿病看護学科，講師，東京，2016年5月

浜野淳：高齢多死時代に求められるプライマリ・ケアと緩和ケア。プライマリ・ケアと緩和ケアの協働～臨床と教育の視点から～。第21回日本緩和医療学会学術大会シンポジウム，京都，2016年6月

浜野淳：訪問看護ステーション各施設の実績・現状について。第2回在宅医療研究会，牛久，2016年6月

浜野淳：がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会。ファシリテーター，つくば，2016年6月

浜野淳：在宅における polypharmacy の実態と対策。第18回日本在宅医学会学術大会シンポジウム，東京，2016年7月

Jun Hamano: Prognostic predictors required for end-of-life discussions. The 14th Annual Meeting of the Japanese-Society-of-Medical-Oncology，神戸，2016年7

月

浜野淳：倦怠感，悪液質のメカニズム，倦怠感 悪液質に対する治療，症状マネジメントと援助技術Ⅶ，山梨県立大学，甲府，2016年7月

浜野淳：平成28年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療体制整備事業」指導者研修会，ファシリテーター，東京，2016年7月

浜野淳：在宅がん患者のQOL，2016年度日本財団在宅看護センター起業家育成事業，講師，東京，2016年7月

浜野淳：がん終末期研修，茨城県看護協会訪問看護支援事業，講師，水戸，2016年8月

平井理心，中野良仁，山口剛，飯田育子，池田雅枝，堀内学，田尻和子，和田哲郎，澤邊康利，浜野淳，本間覚：苦情から医療安全へ～医療メデイエーションの活用～，第17回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会，水戸，2016年9月

浜野淳：多職種連携におけるオピオイドの適正使用，水戸緩和ケア講演会，水戸，2016年9月

浜野淳：平成28年度人生の最終段階における医療体制整備事業 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会，ファシリテーター，前橋，2016年10月

平井理心，中野良仁，山口剛，飯田育子，池田雅枝，堀内学，田尻和子，和田哲郎，浜野淳，本間覚：医療安全に寄与する医療メデイエーションの活用，第11回医療の質・安全学会学術集会，東京，2015年12月

浜野淳：プライマリ・ケアで求められる在宅緩和ケアとは？，第5回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会，前橋，2016年11月

浜野淳：地域包括ケアに求められる緩和医療の実践知とエビデンス，常陸大宮緩和ケア研修会，常陸大宮，2016年12月

浜野淳：つくば市居宅介護支援事業所連絡会・つくば市主任介護支援専門員連絡会共催による合同研修会

「在宅緩和ケア概論～看取りの視点から～」，つくば，2016年12月

浜野淳：がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会，ファシリテーター，つくば，2016年12月

浜野淳：在宅医療の臨床診断・治療の特性，日本看護協会特定行為研修講師，東京，2016年12月

阪本直人：「行動変容」，「特定行為に係る看護師の研修」e-Learning，講師，全日本病院協会，一般社団法人S-QUE研究会，東京，2016年8月

阪本直人：ヘルスリテラシー，J-HPH 運営委員会の学習講演，Japan Network of Health Promoting Hospitals & Health Services (J-HPH)，東京，2016年10月

阪本直人：健康科学の実践④：総合医の役割，順天堂大学スポーツ健康科学部 健康科学概論，千葉県印西市，2016年6月

阪本直人，本学医学生協力（海老原賢治 M3，桐花玲奈 M2，柴崎史行 M1）：将来，医師の道を考えている下妻第一高等学校の皆さんへ～総合診療医からのメッセージ～，茨城県内高等学校医学セミナー，下妻第一高等学校，下妻市，2016年12月

阪本直人：『セッション3【3C】産業医を体験しよう！～「働く」を考慮した全人的医療を考える』，企画・制作協力，ファシリテーター，第28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー，静岡，2016年8月

阪本直人：健康相談会『脱・メタボ！知って得する生活習慣予防法』，つくば市桜保健センター プレミアム健康相談会，茨城県つくば市，2016年8月

阪本直人：3.「フレイル予防，高齢者総合的機能評価（CGA）・老年症候群」，日医かかりつけ医機能研修制度平成28年度応用研修会，日本医師会，茨城県医師会，茨城県水戸市，2016年11月

阪本直人：『シンポジウム（2）人から人へ繋ぐヘルスプロモーション～豊かな学びの連鎖～』，座長，第14回日本ヘルスプロモーション学会学術大会，日本ヘルスプロモーション学会，大分，2016年11月

阪本直人：将来、医療専門職の道を考えている皆さんへ～総合診療医からのメッセージ～. 土浦日本大学高等学校・中等教育学校, 茨城県内高等学校医学セミナー, 茨城県土浦市, 2016年5月

阪本直人：『働く』を考えることのできる医療人をめざそう』. 企画・制作協力, ファシリテーター, 平成28年度医学生のためのつくば総合診療塾 第1回特別編, 文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業・筑波大学『次世代の地域医療を担うリーダーの養成』主催, つくば市, 2016年4月

阪本直人：将来、医師の道を考えている水城高校の皆さんへ～総合診療医からのメッセージ～. 水城高校, 茨城県内高等学校医学セミナー, 水戸市, 2016年7月

阪本直人：健診結果のミカタ. はさき生涯学習センター, 神栖市, 2016年10月

阪本直人：健診結果のミカタ. 神栖市保健センター, 神栖市, 2016年9月

阪本直人：健診結果のミカタ. うずもコミュニティーセンター, 神栖市, 2016年8月

阪本直人：喫煙予防教室. 神栖第3中学校1学年, 神栖市, 2016年12月

阪本直人：喫煙予防教室. 深芝小学校6学年, 神栖市, 2016年12月

阪本直人：喫煙予防教室. 神栖第2中学校2学年, 神栖市, 2016年12月

阪本直人：喫煙予防教室. 神栖第1中学校1学年, 神栖市, 2016年11月

阪本直人：喫煙予防教室. 横瀬小学校6学年, 神栖市, 2016年11月

阪本直人：喫煙予防教室. 須田小学校6学年, 神栖市, 2016年11月

阪本直人：喫煙予防教室. 波崎第3中学校1学年, 神栖市, 2016年10月

阪本直人：喫煙予防教室. 波崎第4中学校1学年, 神栖市, 2016年9月

阪本直人：喫煙予防教室. 波崎西小学校6学年, 神栖市, 2016年9月

阪本直人：喫煙予防教室. 神栖第4中学校1-3学年, 神栖市, 2016年7月

阪本直人：喫煙予防教室. 大野原小学校6学年, 神栖市, 2016年6月

阪本直人：喫煙予防教室. 植松小学校6学年, 神栖市, 2016年5月

阪本直人：喫煙予防教室. 植松小学校6学年, 神栖市, 2016年3月

阪本直人：喫煙予防教室. 神栖第3中学校1学年, 神栖市, 2016年2月

阪本直人：喫煙予防教室. 太田小学校6学年, 神栖市, 2016年2月

阪本直人：喫煙予防教室. 波崎第4中学校1学年, 神栖市, 2016年2月

阪本直人：喫煙予防教室. 波崎第1中学校1学年, 神栖市, 2016年2月

阪本直人：喫煙予防教室. 軽野小学校6学年, 神栖市, 2016年1月

阪本直人：喫煙予防教室. 横瀬小学校6学年, 神栖市, 2016年1月

監修阪本直人, 指導・引率中澤一弘：食育教室「おやつについて考えよう」. 今鹿島小学校5,6年生, つくば市, 2016年1月29日

阪本直人：食育教室「おやつについて考えよう」. 吉沼小学校4年生, つくば市, 2016年1月23日

監修阪本直人, 指導・引率前野貴美：食育教室「おやつについて考えよう」. 吾妻小学校4年生, つくば市,

2016年1月15日

有田圭介：企画責任者・講師。第3回埼玉協同病院緩和ケア研修会，川口，2016年11月

高屋敷明由美：筑波大学医学群－医学・医療に興味がある皆さんへ。茗溪学園SSH講演会，つくば，2016年12月

高屋敷明由美：地域における患者の生活を支えるための職種間連携～その人らしさを大切にする支援とは？。平成28年度兵庫医科大学・兵庫医療大学チーム医療演習 特別講義，加古川，2016年9月

高屋敷明由美：筑波大学における平成27年度医学教育分野別認証受審の実際。兵庫医科大学FD，加古川，2016年9月

長岡広香：茨城県緩和ケア研修会。ファシリテーター，筑波大学附属病院，6月，2016

長岡広香：茨城県緩和ケア研修会。ファシリテーター，筑波大学附属病院，12月，2016

長岡広香：茨城県緩和ケア研修会。ファシリテーター，筑波大学附属病院，3月，2017

長岡広香：PEACE 指導者研修会。ファシリテーター，府中，2月，2017

長岡広香：第9回地域医療従事者との緩和ケアカンファレンス「臨死期のケア」。ファシリテーター，筑波大学附属病院，3月，2017

長岡広香：臨死期のケア。レジデントレクチャー，筑波大学附属病院，3月，2017

横谷省治：交流分析～自分を知る・気持ちよく交流する～。北茨城市役所メンタルヘルス研修会，北茨城，2016年1月

横谷省治：元気な老後にむけての健康づくり。茨城県指定地域リハ・ステーション講演会，北茨城，2016年2月

横谷省治：総合診療医養成と地域医療の再構築。第181回保健・医療・福祉に関する勉強会，つくば，2016年3月

横谷省治：チーフタスクフォース。日本プライマリ・ケア連合学会指導医養成講習会『後期研修プログラムでポートフォリオを上手に使う』，仙台，2016年5月

横谷省治，大島民旗，鄭東孝，山田康介，臺野巧，森永太輔，日比野将也，吉田伸：そのプログラムに魂を入れる。第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会，東京，2016年6月

横谷省治：健康問題の解決の仕方を考える。高校生のための医学セミナー，茨城県立竜ヶ崎第一高等学校，2016年6月

横谷省治：健康問題の解決の仕方を考える。高校生のための医学セミナー，茨城県立並木中等教育学校，2016年7月

高屋敷明由美，横谷省治：覗いて見よう！家庭医の頭の中。第1回総合診療塾，つくば市，2016年7月

横谷省治：タスクフォース。日本専門医機構第1回総合診療専門研修特任指導医講習会，東京，2016年7月

横谷省治：チーフタスクフォース。日本プライマリ・ケア連合学会指導医養成講習会『入門編：最低限必要な家庭医療の方法論，教育・指導技法，ポートフォリオ指導』，東京，2016年7月

横谷省治：タスクフォース。日本専門医機構第2回総合診療専門研修特任指導医講習会，東京，2016年7月

横谷省治：タスクフォース。日本専門医機構第5回総合診療専門研修特任指導医講習会，東京，2016年8月

横谷省治：2025年のその先を見据えた地域包括ケアを考える。健育会グループ第11回チーム医療症例検討会 in いわき，いわき，2016年9月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，明德小学校，北茨城，2016年9月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，中郷第二小学校，北茨城，2016年9月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，石岡小学校，北茨城，2016年10月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，中郷第一小学校，北茨城，2016年10月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，関南小学校，北茨城，2016年10月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，華川小学校，北茨城，2016年11月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，精華小学校，北茨城，2016年12月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，平潟小学校（高橋聡子，横谷省治），北茨城，2016年12月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，中妻小学校，北茨城，2016年12月

横谷省治：がんについて知ろう（小学6年生）。北茨城市立小学校がん予防教育，関本小学校，北茨城，2016年12月

横谷省治：がんについて知ろう（中学3年生）。北茨城市立中学校がん予防教育，磯原中学校，北茨城，2016年9月

横谷省治：がんについて知ろう（中学3年生）。北茨城市立中学校がん予防教育，華川中学校，北茨城，2016年9月

横谷省治：がんについて知ろう（中学3年生）。北茨

城市立中学校がん予防教育，関本中学校，北茨城，2016年12月

横谷省治：がんについて知ろう（中学3年生）。北茨城市立中学校がん予防教育，常北中学校（高橋聡子，横谷省治），北茨城，2016年12月

横谷省治：医学部のススメ。土浦日本大学中等教育学校第3～5学年対象学部学科説明会，2016年11月

横谷省治：チーフタスクフォース。日本プライマリ・ケア連合学会指導医養成講習会『入門編：最低限必要な家庭医療の方法論，教育・指導技法，ポートフォリオ指導』，仙台，2016年12月

前野貴美，横谷省治，吉本尚，春田淳志：教育と医療のコラボレーション～地域コミュニティの再生に向けて～。平成28年度筑波大学教員免許状更新講習，2016年6月

前野貴美：成人看護学概論 コミュニケーション・スキル。茨城県立医療大学保健医療学部看護学科2年次講義，阿見，2015年6月

前野哲博，山内孝義，春田淳志，河野大輔，鈴木英雄，木下賢輔：茨城県指導医養成講習会。2016年1月30日・31日

前野哲博：平成27年度第2回茨城県指導医養成講習会ディレクター。茨城県医師臨床研修連絡協議会，水戸市，2016年1月

前野哲博：研修のメンタルヘルスケアについて。第17回全国労災病院臨床研修指導医講習会，労働者健康福祉機構総合研修センター，川崎市，2016年1月

前野哲博：ベストプラクティスから学ぶ仕事の教え方・人材養成。平成27年度第8回看護師特定行為研修指導者講習会，全日本病院協会，広島市，2016年1月

前野哲博：研修医のうつ病について。第12回東京大学医学部附属病院指導医講習会，東京大学医学部附属病院，東京都文京区，2016年2月

前野哲博：総合診療専門医制度の現状と今後。第68回

済生会学会済生会シンポジウム シンポジウム3「新しい専門医制度への対応－特に総合診療専門医をどう育てるか－」, 大阪府済生会中津病院, 大阪市, 2016年2月

前野哲博: 日本プライマリ・ケア連合学会の立場から, 第8回全国シンポジウム「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか?」, 鹿児島大学病院 地域医療支援センター, 東京都千代田区, 2016年2月

前野哲博: 総合診療専門医制度の概要と今後への期待, 第15回三河病院経営研究会, テルモ株式会社, 豊橋市, 2016年2月

前野哲博: 本格的参加型臨床実習への取り組み, KAMPO MEDICAL SYMPOSIUM 2016, 株式会社ツムラ, 東京都新宿区, 2016年2月

前野哲博: 総合診療医とは? 第27回鹿児島地域医療教育講演会, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, 鹿児島県保健福祉部地域医療整備課, 鹿児島市, 2016年5月

前野哲博: かかりつけ薬局で働く薬剤師向けの新しいIPEプログラムの開発, 日本薬学会第136年会, 横浜市, 2016年3月

前野哲博: 総合診療専門医制度の概要と今後への期待, PC 連合学会鹿児島県支部総会, PC 連合学会鹿児島県支部, 鹿児島市, 2016年5月

前野哲博: 研修のメンタルヘルスケアについて, 第18回全国労災病院臨床研修指導医講習会, 労働者健康福祉機構総合研修センター, 川崎市, 2016年6月

前野哲博: 糖尿病のトータルマネジメント～健診異常からインスリン導入までの10年を追う!～, 2016年薬剤師生涯学習講座, 薬学ゼミナール 生涯学習センター, 東京都渋谷区, 2016年7月

前野哲博: 地域医療を支える総合診療医の養成, 全国歯科大学同窓・校友会懇話会, 全歯懇, 鹿児島大学歯学部同窓会, 鹿児島市, 2016年7月

前野哲博: 平成28年度第1回茨城県指導医養成講習会

ディレクター, 茨城県医師臨床研修連絡協議会, つくば市, 2016年7月

前野哲博: 救急患者のフィジカルアセスメント(2), 日本看護協会看護研修学校, 清瀬市, 2016年7月

前野哲博: タスクフォース, 第5回総合診療特認指導医養成ワークショップ, 東京都文京区, 2016年8月

前野哲博: 筑波大学における参加型臨床実習の実際, MEDC 第61回医学教育セミナーとワークショップ, 岐阜大学 医学教育開発研究センター, 岐阜市, 2016年8月

前野哲博: 一歩先を行く薬剤師になるために! 「わかりやすい症候診断」, 2016年薬剤師生涯学習講座, 大阪市, 2016年9月

前野哲博: 筑波大学における医学教育カリキュラム改革の取り組み, 弘前大学医学部講演会, 弘前大学医学部, 弘前市, 2016年9月

前野哲博: 「医療安全学」Evidence - Based Medicine(1), (2), 弘前大学医学部, 弘前市, 2016年9月

前野哲博: 臨床推論の基本的な考え方－臨床医の思考プロセスをたどる－, 第26回日本医療社会福祉学会, 日本医療社会福祉学会, 京都市, 2016年9月

前野哲博: 総合診療専門医の未来は～混沌とする新専門医制度の中で, 総合診療専門医はようになるか～, 平成28年度島根県総合診療医説明会, 総合診療医育成ネットワーク, 出雲市, 2016年9月

前野哲博: 総合診療専門医制度の現状と今後の方向性について, 第6回東北ブロック支部学術大会, 日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 山形市, 2016年9月

前野哲博: フィジカルアセスメント, 2016年薬剤師生涯学習講座, 薬学ゼミナール 生涯学習センター, 東京都渋谷区, 2016年10月

前野哲博: 医師はどうやって病気を診断するのか?, 常総学院講義, 常総学院高等学校, 土浦市, 2016年10

月

前野哲博：総合診療医の立場からリハビリテーションを考える。リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016，主催者（一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会／一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会／一般社団法人全国デイ・ケア協会／一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会／全国地域リハビリテーション研究会／全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会），つくば市，2016年10月

前野哲博：プライマリ・ケアにおけるめまいの診かた。河北総合病院講演会，東京都杉並区，2016年10月

前野哲博：筑波大学における医学教育カリキュラム改革の取り組み。愛知医科大学講演会，愛知医科大学医学部，愛知県長久手市，2016年10月

前野哲博：タスクフォース。平成28年度第9回看護師特定行為研修指導者講習会，全日本病院協会，東京都港区，2016年11月

前野哲博：地域医療再生に向けたプライマリ・ケア。プライマリ・ケア連合学会近畿地方会，日本プライマリ・ケア連合学会近畿ブロック支部，和歌山市，2016年11月

前野哲博：これからの地域医療に求められる薬剤師の新しい役割。第27回茨城県薬剤師会学術大会，茨城県薬剤師会，つくば市，2016年11月

前野哲博：臨床研修制度／専門医制度の動向。指導医に求められる役割。第15回順天堂大学医学部初期臨床研修指導医講習会，順天堂大学医学部附属練馬病院，府中市，2016年11月

前野哲博：地域医療で活躍する総合診療医。平成28年度第2回診療部研修会，神栖済世会病院，神栖市，2016年11月

前野哲博：共通科目「特定行為研修」講義：臨床推論演習：臨床推論。日本看護協会看護研修学校，清瀬市，2016年12月

前野哲博：総合医療科目「地域・総合診療・症候」総合診療とは？。鹿児島大学医学部，鹿児島市，2016年12月

前野哲博：平成28年度医師臨床研修指導医講習会ディレクター。和歌山県地域医療支援センター，和歌山市，2016年12月

前野哲博：地域医療学：地域医療と臨床研究。高知大学医学部，南国市，2016年12月

班研究

吉本尚：地域包括ケアと多職種連携。看護職・ケアマネジャー版DVD，公益社団法人日本医師会，2016年2月

今村聡，鈴木邦彦，釜薙敏，羽鳥裕，天木聡，真壁文敏，吉本尚，井上多鶴子，大迫可奈子，富永信子，高野恵美：地域包括ケアと多職種連携～学習用ワークブック。公益社団法人日本医師会，2016年2月

吉本尚：実行委員コメント。今後に向けて。看護管理者の院内継続教育の開発～看護師が前向きな気持ちで仕事に取り組む職場環境を作るために～，日本赤十字医療センター，2016年2月

吉本尚：認知症ケアにおける多職種連携。教員・指導者用ガイドブック，NPO法人ハート・リング運動，2016年2月

取材・記事

松下綾，取材協力 阪本直人：この人に聞く「薬局薬剤師のスキルミックスプログラムを開発！」。月刊薬事，2016年10月号，Vol.58 No.13，株式会社じほう，東京，2016年10月

伊藤慎，河村由史可：指導医の17%が燃え尽き症候群－頻度と要因が明らかに－。Medical tribune 誌，49(38)：8，2016年10月6日

伊藤慎：指導医の約2割がバーンアウトに－約1,000人を解析－。Medical tribune on line，<https://medical-tribune.co.jp/news/2016/0819504436/>，2016年8月19日

高木博：真夏の病気 こんなところに要注意. 川崎医療生協新聞 8月号：1面, 2016年8月

宮澤麻子：診療室から第129回「在宅医療と自宅での看取りについて」. びばじょいふる編集室, びばじょいふる 9月号, 22, 北茨城, 2016

宮澤麻子：地域でみんなで支える～在宅療養って何だっぺ～パンフレット内マンガ製作. 北茨城市在宅医療介護連携推進事業, 北茨城, 2016年2月

小曾根早知子：3・4年次対象「マイフューチャーセミナー」開催. 並木ドリーム第98号, 茨城県立並木中等教育学校校長通信, 2016年9月16日

浜野淳：国際学術誌に掲載された研究論文（進行がん患者が死を迎える場所が生存期間に影響するか？という研究テーマ）がBBC Health Check（英国）, The Mirror（英国）, The Herald Sun（豪州）などの海外マスメディアとNHKニュース, 朝日新聞, 読売新聞, 毎日新聞, 東京新聞, 共同通信などの国内マスメディアで取り上げられた。2016年4月

阪本直人, 座光寺正裕, 長谷田真帆：特集 保健の視点 人々の健康な生活を支える 『誰もが自分の健康を主体的に獲得できる世の中へ』. 医学生のための無料情報誌『ドクターゼ』第19号, 14-17, 日本医師会, 東京, 2016年9月

河村由吏可：ストレス対応力が低いと燃え尽きリスク5倍 指導医での解析結果. Medical Tribune, URL <https://medical-tribune.co.jp/news/2016/0819504437/>, 2016年8月19日

前野哲博, 横谷省治：【地域枠で学ぼう！】地域枠医学生の卒業後の進路. DOCTORASE 特別編 医師への道, 68-69, 公益社団法人日本医師会, 東京, 2016

前野哲博, 横谷省治：地域枠医学生の卒業後の進路, 医師への道. DOCTORASE 特別編 FOR 医学部受験生, 68-69, 2016

前野哲博：大学と地域が連携し, 地域医療を担う医師を育てる. DOCTORASE18, 32-33, 2016

前野哲博：徹底討論！多職種連携教育（IPE）は薬学教育に何をもたらすか. MIL 67, 10, 2016

前野哲博：高度医療より安心感を与える まるごとずっと住民を診る. 手術数でわかるいい病院2016 全国&地方別ランキング, 298, 2016

表彰

渡邊久実：筑波大学人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻優秀論文賞. 2016年3月

渡邊久実：発達科学研究教育奨励賞. 2016年10月

渡邊久実：第75回日本公衆衛生学会総会示説賞. 2016年11月

後藤亮平：筑波大学学長賞受賞. 3月

吉本尚：平成28年度筑波大学医学医療系優秀大学教員（研究領域）

鈴木広道：第13回日本化学療法学会学術奨励賞. 受賞, 2016年

鈴木広道：茨城県医師会勤務医部会学術奨励賞. 受賞, 2016年

浜野淳：平成28年度筑波大学若手教員奨励賞

助成金

渡邊久実：発達科学研究教育奨励賞「ライフコースアプローチによる思春期のwell-being実現に向けた要因解明」

吉本尚：2013年～2015年度厚生労働省科学研究費補助金「プライマリケアにおけるアルコール使用障害のスクリーニング・介入に関する研究」

吉本尚：2015年～2017年度文科省科学研究費補助金「大学生におけるアルコール使用障害のスクリーニングに関する研究」

川井田恭子, 吉本尚：2016年～2018年度文科省科学研究費補助金「大学生のビンジドリンキングの予防に向けた教育プログラムの開発」

大脇由紀子, 吉本尚: 2016年~2019年度文科省科学研究費補助金「総合病院の看護師に対する SBIRT の教育プログラムの有効性と導入課題に関する研究」

春田淳志, 田直子, 大石愛: 住民を巻き込んだ多職種連携教育 (Transprofessional education) を基盤とした緩和ケアボランティア養成プログラムの開発-参加型アクションリサーチ-. プライマリ・ケア連合学会チーム研究助成, 2年間, 2014年4月1日~2016年3月31日

春田淳志: 多職種連携教育の評価方法の開発と妥当性の検証. 科学研究費補助金若手研究 (B), 3年間, 2016年4月1日~2019年3月31日

浜野淳: 2016年度 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 研究助成金 取得「非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査」

研究代表者横谷省治, 研究分担者 前野哲博, 鈴木英雄, 後藤亮平: 科学研究費助成基盤研究 (C)「小中学校がん教育プログラムを通じたがん検診受診の促進とその検証」

委員

後藤亮平: 日本プライマリ・ケア連合学会 未来研究リーダー人材育成プロジェクト 委員

高木博: 日本プライマリ・ケア連合学会 国際関係委員会委員

高木博: 日本プライマリ・ケア連合学会 専門医認定委員会委員

木村洋輔: 臨床講師. 筑波大学

木村洋輔: 医療介護連携推進事業実行委員アドバイザー. 筑西市

木村洋輔: 医療介護連携推進事業実行委員長. 桜川市

木村洋輔: 真壁医師会桜川支部理事

木村洋輔: 雨引小学校学校医. 桜川市

宮澤麻子: 北茨城市コミュニティケア総合センター準備会議. 北茨城市民病院附属家庭医療センター, 2016年2月29日, 2016年6月15日

宮澤麻子: 茨城県研修システム協議会委員. 2016年6月~

宮澤麻子: 北茨城市コミュニティケア総合センター設立準備委員会. 2016年9月1日~, 北茨城市役所, 北茨城, 2016年8月29日

宮澤麻子: 日本プライマリ・ケア連合学会 ICPC 委員会 Trans-His プロジェクト協力委員. 2015年3月~, 協力委員会合. 日本プライマリ・ケア連合学会本部, 東京, 2016年1月31日

宮澤麻子: 日本プライマリ・ケア連合学会若手医師部会クルー100人プロジェクト地域ごとコミュニティチーム委員. 2015年6月~

宮澤麻子: 日本プライマリ・ケア連合学会平成28・29年度関東・甲信越ブロック代議員.

宮澤麻子: 日本プライマリ・ケア連合学会専門医部会生涯学習部門委員. 2015年6月~

宮澤麻子: 北茨城市保健医療対策協議会委員. 2015年4月1日~, 北茨城市役所, 北茨城, 2016年2月24日

宮澤麻子: 北茨城市在宅医療・介護連携推進協議会委員. 2015年4月1日~2016年3月31日, 北茨城市役所, 北茨城, 2016年3月7日

宮澤麻子: 北茨城市立明德小学校校医. 2016年4月1日~

宮澤麻子, 海老原稔: 学校健診. 2016年5月11日

宮澤麻子: 就学時健診. 2016年10月12日

宮澤麻子: 北茨城市立関南小学校校医. 2016年6月1日~

宮澤麻子: 学校保健委員会. 2016年10月7日

宮澤麻子, 高橋聡子: 就学時健診2016年10月26日

宮澤麻子: ウェルカムセミナースタッフ, 筑波大学, つくば, 2016年4月9~10日

宮澤麻子: レジデントデイ Resident of 2015 副担任

吉本尚: 平成28年度文部科学省委託「地域包括ケアを担う医療・保健・福祉の多職種連携教育コーディネーター養成プログラム開発」事業, 作業部会委員, 2016-10~現在

吉本尚: 日本赤十字社医療センター 看護管理職の継続教育プログラム開発, 協力委員, 2015-07~現在

吉本尚: 特定非営利活動法人ハート・リング運動 認知症のケアに携わる中核的専門人材の多職種連携力を高める教育プログラム開発, 協力委員, 2015-07~現在

吉本尚: 日本医師会(文部科学省委託事業) 地域包括ケアを担う医療・介護分野の中核的専門人材養成のための教育プログラム開発, 協力委員, 2015-07~現在

吉本尚: イッキ飲み防止連絡協議会, 専門委員, 2014-10~現在

吉本尚: 日本アルコール関連問題学会, 評議員, 2014-09~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会医学生若手医師支援委員会, 委員, 2014-07~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会支部支援委員会, 委員, 2014-07~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会国際関係委員会, 協力委員, 2014-07~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会の在り方検討委員会, 委員, 2014-07~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会, 代議員, 2014-05~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会アルコールワーキンググループ, 代表, 2012-11~現在

吉本尚: アルコール関連問題基本法推進ネット, 幹事, 2012-05~現在

吉本尚: 一般社団法人 Medical Studio, メンター, 2012-08~現在

吉本尚: 家庭医・病院総合医教育研究会, 協力委員, 2012-08~現在

吉本尚: 三重大学(文部科学省補助事業) 地域医療の核となる医療人材の養成にむけて~三重地域医療総合診療網の全国・世界発信~, 教育担当, 2013-08~現在

吉本尚: 日本プライマリ・ケア連合学会海外家庭医療雑誌, 表題翻訳プロジェクトメンバー, 2009-10~現在

春田淳志: 日本医学教育学会地域医療・多職種連携教育委員会, 委員, 2012年6月~2016年5月

春田淳志: 日本医学教育学会第19期学習方略委員会, オブザーバー, 2016年9月~

春田淳志: 日本医学教育学会医学教育学会認定専門家委員会, ワーキンググループ, 2012年6月~

春田淳志: 保健医療福祉連携学会 IPE 推進委員会, 委員, 2012年~

春田淳志: 日本プライマリ・ケア連合学会専門医認定委員会, 委員, 2013年12月~

鈴木広道: 日本臨床微生物学会, 評議員

鈴木広道: 特定非営利活動法人 つくば臨床検査教育・研究センター, 理事

阪本直人: 日本ヘルスプロモーション学会 評議委員, 2016年度

阪本直人: 日本プライマリ・ケア連合学会 ICT 委員

会委員，2016年度

阪本直人：日本プライマリ・ケア連合学会代議員，
2016年度

阪本直人：日本ヘルスプロモーション学会理事，2016
年度

阪本直人：日本ヘルスプロモーション学会常任理事，
2016年度

横谷省治：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学
会，理事

横谷省治：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学
会，プログラム運営・FD 委員会委員長，規約制度・
用語委員会副委員長，専門医制度運営会議委員，専攻
医部会担当理事

横谷省治：北茨城市コミュニティケア総合センター設
立準備委員会専門部会委員

横谷省治：一般財団法人家庭医療学研究所，評議員

前野哲博：一般社団法人日本医学教育評価機構，評価
員，2016年2月～2018年3月

前野哲博：公益財団法人医学教育振興財団運営委員会，
運営委員，2015年4月～2017年3月

前野哲博：日本医師会 日本医師会生涯教育制度に関
するワーキンググループ，委員，2015年4月～2016年
6月

前野哲博：日本医師会生涯教育推進委員会，委員，
2016年10月～2018年6月

前野哲博：国立大学医学部長会議 卒業時コンピテン
シー検討WG（仮称），2015年6月～2016年3月

前野哲博：国立大学医学部長会議 卒業時モデル・コ
ア・コンピテンシー検討WG 委員会，委員，2016年
4月～2017年3月

前野哲博：一般社団法人全国医学部長病院長会議 地

域における医師養成の在り方に関する調査実施委員
会，アドバイザー，2015年12月～2018年3月

前野哲博：一般社団法人日本医学教育評価機構，評価
員，2016年2月～2017年6月

前野哲博：グラクソ・スミスクライン（株）GSK 医
学教育事業助成，審査委員，2016年6月～2016年12月

前野哲博：日本専門医機構総合診療専門医に関する委
員会ワーキンググループ，委員，2016年10月～2018年
10月

前野哲博：独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO
版病院総合医研修プログラム作成ワーキングチーム，
オブザーバー，2016年11月～2017年3月